

Build Happy Internet Life

トップメッセージ | 高谷 康久

「東証一部への市場変更を実現」

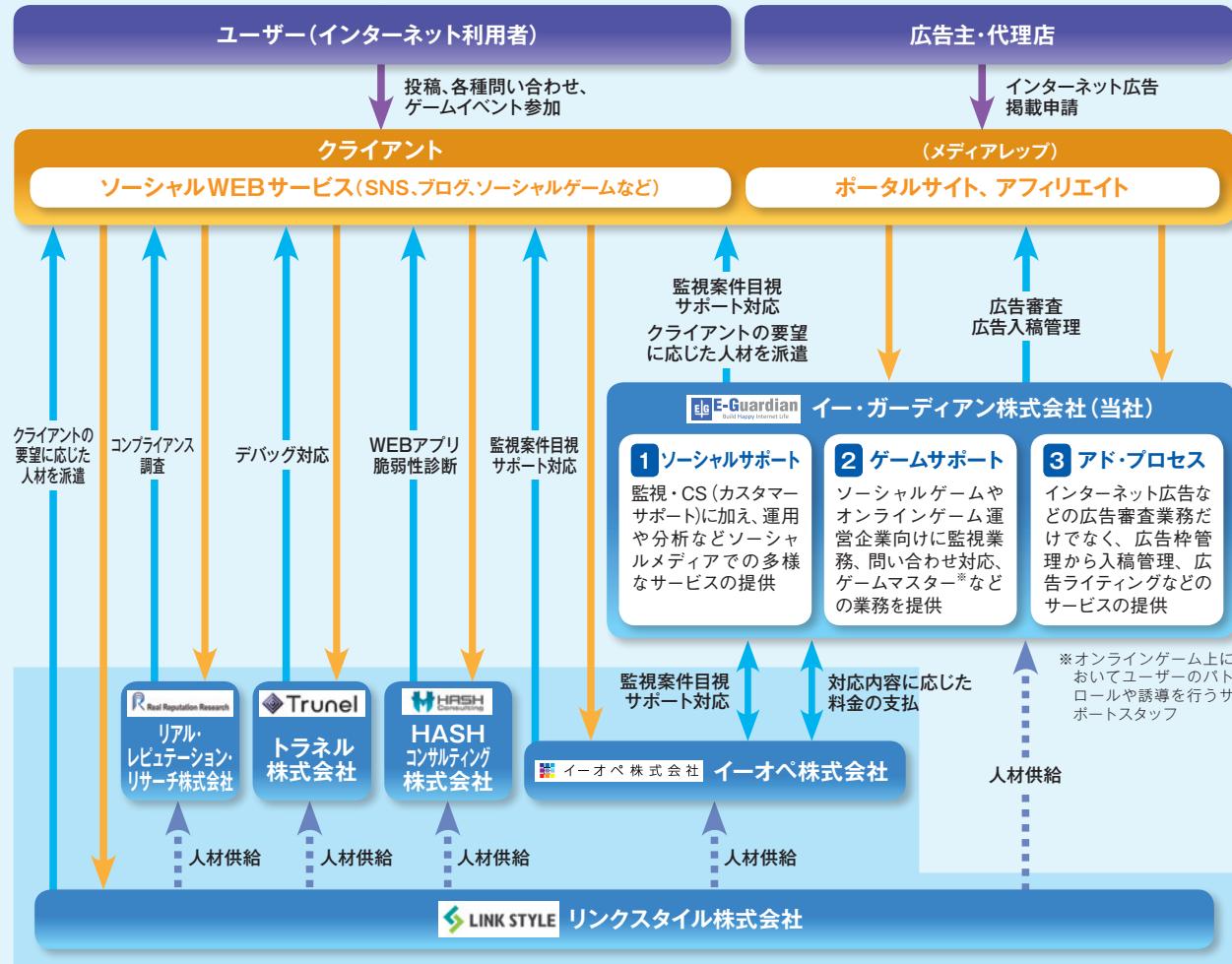
株主・投資家の皆様へ

E-G通信

第19期

2015年10月1日～2016年9月30日

すべてのインターネット利用者に安心・安全をベースに「楽しい」を提供します。



- 連結子会社 → 対応内容に応じた料金の支払
- 「リンクスタイル(株)」は2015年5月1日付で「(株)パワーブレイン」より商号変更いたしました。
- | | | |
|---|--|--|
| <p>700社を超える運用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社カヤック 株式会社シーイー・モバイル 株式会社バンダイナムコエンターテインメント | <ul style="list-style-type: none"> 株式会社gumi ソフトバンク株式会社 楽天株式会社 | <ul style="list-style-type: none"> グリーアドバタイジング株式会社 株式会社ネットマーケティング 株式会社リクルートライフスタイル <p>その他多数</p> |
|---|--|--|

インターネット関連市場の成長と積極的な事業展開により、東証一部へ市場変更を実現。

当社は、総合ネットセキュリティ企業を目指し、各分野でNo.1サービスの量産を目標に、事業拡大と収益性向上を追求してまいりました。そして、2016年9月をもちまして東京証券取引所第一部へ市場変更をいたしました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、これまでお力添えをいただいた多くの関係者の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

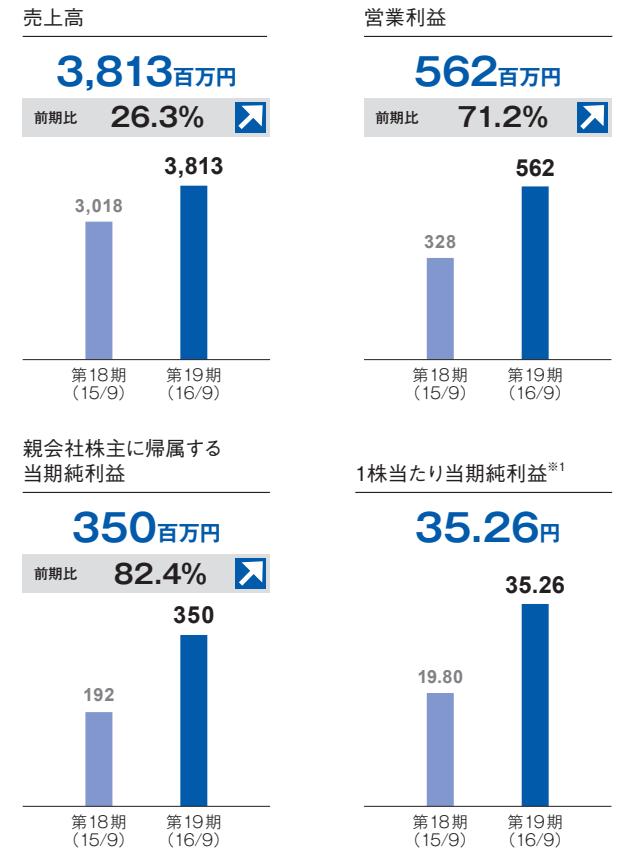
今後も、当社事業領域であるインターネット関連市場は成長が継続していくものと予想されます。その一方で、個人情報漏えいやアプリケーションの脆弱性を狙った攻撃などのセキュリティ侵害が深刻化しており、安全性を求める声は一層高まっております。

当社は、従来の事業を強化するとともに、サイバーセキュリティ分野においても、ブロックチェーンなどの新技術にいち早く取り組み、さらなる飛躍を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
高谷 康久

業績ハイライト



Point グループシナジーが売上増加に寄与

中でも、デバッグ**2専門のトラネル(株)の業績が伸び、売上増加に寄与しました。

※1 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。また、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※2 デバッグとは、アプリやゲームなどの製作過程で発生したプログラムミスを修正し、正常に動作をさせることです。

市場拡大の追い風を受け止める着実な施策が結実し、

東証一部 への市場変更を実現しました。

東証一部への市場変更、 おめでとうございます。

東証一部への市場変更については、複数の事業のシナジー効果や事業基盤の強化により実現できました。以前から株主の皆様にも東証一部を目指していることをお伝えしてきたので、それが達成できて大変うれしく思っています。

東証一部になると社会的な信用度が大幅に高まり、取引やM&Aなども進めやすくなっていきますし、社員のモチベーションと経営の方向性への信頼感も以前よりはるかに高まっていると感じています。



代表取締役社長
高谷 康久

2016年9月期(第19期)の業績を どのように評価されていますか。

おかげさまで、2016年9月期は、売上26.3%増の3,813百万円、経常利益58.4%増の554百万円、営業利益71.2%増の562百万円と、いずれも過去最高を記録しました。

全体的に市場拡大の追い風があり、既存事業ではそれを着実にキャッチして業績を大きく伸ばすことができました。さらに、この追い風やネット環境の変化をキャッチするために、前期や前々期に打った施策であるデバッグ企業やサイバーセキュリティ企業の子会社化が功を奏し、第19期において既に売り上げや利益に貢献し始めていることも好業績の根拠となっています。

既存3分野についてはいかがですか。

まずソーシャルサポート分野では、風評被害調査が改めて伸びを示しているなど、着実に市場が拡大しています。この流れに乗って業績を拡大していくとともに、将来、コールセンターに代わってチャットサポートが爆発的に普及すると見えますが、その機を逃さないように備えています。

ゲームサポート分野では、VR(Virtual Reality=仮

想現実)やAR(Augmented Reality=拡張現実)を、ゲームや映画などすべてのエンターテインメントが取り入れていくと見えています。このため6月に「チームVRガーディアン」、7月に「チームARガーディアン」という専門部隊を創設し、需要に対応していきます。また、VRやARのコンテンツ作成過程ではデバッグ需要も生じますし、同時に「VR酔い」を検証する業務等の受注も見込まれるので、当社にとってシナジー効果が期待できます。

さらに海外展開として、フィリピンや中国において、英語や中国語をはじめとした外国語のゲームサポートなどの稼働を開始し、第20期からの利益計上を目指しています。これも将来の成長への寄与が大きくなることを見込んでいます。

アドプロセス(ネット広告審査)分野ですが、最近、ネット広告をめぐるクライアントと代理店との信頼関係が揺らぐような事件が起こっています。当社は、客観的なポジションにあるため、第三者評価を依頼されるなど、この分野でも着実な業績拡大を展望しています。

加えて、これら3分野のサービスを提供しているセンターの稼働率が大きく向上しているため、昨年の熊本センター開設に続いて、大阪センターの増床移転も行いました。シナジー効果により販管費を抑制しつつ受注を拡大していることが、センターの稼働率向上をもたらし、これに対応してセンターの拡張を行うという好循環が生まれています。

サイバーセキュリティや その他分野についてはいかがですか。

サイバーセキュリティについては、ネットにつながるあらゆる企業にとって避けて通れない問題であり、今後大きく成長が見込める分野です。第18期にHASHコンサルティング(株)を子会社化しましたが、第19期には優秀なエンジニアを増員することに成功いたしました。特に、今後必至となるブロックチェーンや、IoT、VR、ARの急激な普及の中で大きな成長が見込める分野だけに、当社としては既存の3分野に加えて第4の柱に育てていく所存です。

また、2月にリアル・レピュテーション・リサーチ(3R)(株)を子会社として設立し、ネット上の調査だけではなくリアルな調査も提供する、コンプライアンス調査事業を開始しています。

株主へのメッセージをお願いします。

当社は、ネットの中で生まれてくる安全・安心への需要に柔軟かつ迅速に対応することで、ネット環境の激しい変化をむしろ追い風として今日まで成長してきました。この柔軟で迅速な対応力こそ当社の競争優位です。また関連分野へと事業拡大することでシナジー効果を安定的に生み出しています。

今後も、このような当社の強みに磨きをかけつつ、着実に次に向かっての施策を打ち、その成果を刈り取っていくことで継続的な成長を実現してまいります。

株主の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

大阪センターの移転により、さらなる事業拡大および企業価値向上の追及へ

モバイルを含む国内のインターネット関連市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及を背景に、ソーシャルゲーム市場をはじめ、引き続き市場成長が継続しており、今後も様々なサービスが展開されていくものと予想されます。

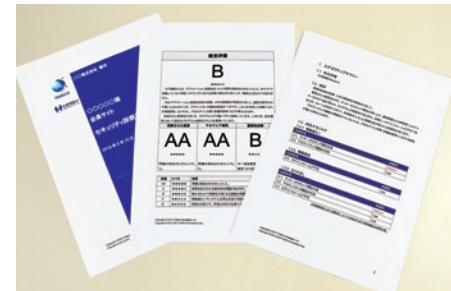
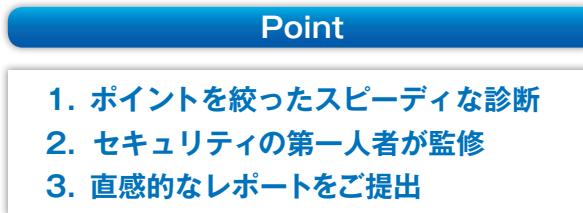
多様化する顧客ニーズに対応するため、当社は、平成28年9月に大阪センターの増床移転を行いました。同センターの規模を従来の約2倍に拡張し、市場拡大・変化に適合した各種サービスの提供を行うことでさらなる事業拡大を図り、企業価値向上を目指してまいります。



Web担当者向け簡易版「セキュリティ診断サービス」の提供を開始

NPO法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)「2015年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書 速報版」によると、2015年の個人情報漏えいインシデントにおいて想定損害賠償総額は2,541億円超と算出されております。サイバー攻撃に対するセキュリティ対策は企業戦略に欠かせないものとなりましたが、Webサイトへの攻撃手法がますます複雑かつ高度になり、セキュリティ診断の実施には多くのコストと時間を要するようになっております。

そのような状況の下、子会社のHASHコンサルティング(株)において、トライベック・ストラテジー(株)(東京都港区)と共同で、Web担当者向けセキュリティ診断サービス「トライベック・セキュリティソリューション」を提供開始いたしました。より多くのお客様に手間をかけずに効果的な方法で“自社のセキュリティ状況を把握”していただくことで、総合ネットセキュリティ企業としてさらなる飛躍を目指してまいります。



会社概要 (2016年9月30日現在)

商号	イー・ガーディアン株式会社 E-Guardian Inc.
代表者名	代表取締役社長 高谷 康久
設立	1998(平成10)年5月
資本金	35,893万円
従業員数	連結820名(うち契約社員数656名)
本社	〒106-0045 東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル 4F TEL:03-5575-2561 FAX:03-5575-0621
センター所在地	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京センター 〒106-0045 東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル 6F TEL:03-5575-2562 FAX:03-6675-3030 ■ 立川センター 〒190-0012 東京都立川市曙町2-10-1 ふどうやビル 10F TEL:042-847-3300 FAX:042-847-3301 ■ 大阪センター 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-5-17 堂島グランドビル 7F TEL:06-6346-6080 FAX:06-6346-6180 ■ 宮崎センター 〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東4-1-2 宮崎野村證券ビル 7F TEL:0985-42-7900 FAX:0985-42-7901 ■ 熊本センター 〒860-0863 熊本県熊本市中央区坪井2-2-35 熊電プラザビル 1F TEL:096-341-2525 FAX:096-341-2526
関連会社	<ul style="list-style-type: none"> ■ イーオペ株式会社 ■ リンクスタイル株式会社 ■ トラネル株式会社 ■ HASHコンサルティング株式会社 ■ リアル・レピュテーション・リサーチ株式会社
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング ■ リアルタイム投稿監視業務 ■ ユーザーサポート業務 ■ オンラインゲームカスタマーサポート業務 ■ コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務 ■ コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務 ■ 人材派遣業務 ■ デバッグ業務 ■ サイバーセキュリティ関連業務

株式情報 (2016年9月30日現在)

株式の状況

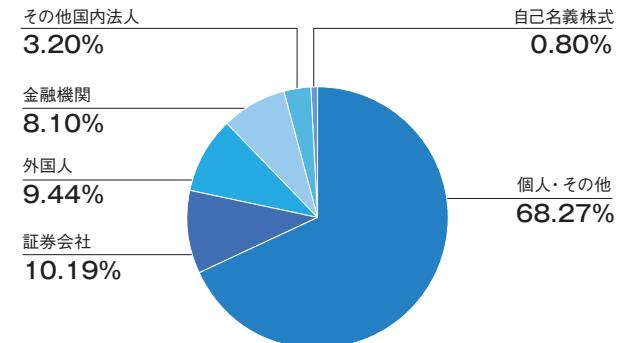
発行可能株式総数	32,400,000株
発行済株式の総数[うち自己株式262,482株*]	10,359,000株
株主数	6,349名

※期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式(平成28年9月期180,000株)を含めて記載しております。

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
高谷 康久	1,031,900	9.96
五味 大輔	440,000	4.25
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジェイビーアールデイ アイエスジー エフイーイーエイシー	285,800	2.76
ピーエヌワイエム エスエーエヌバイ ピーエヌワイエム ジーシーエム クライアント アカウツ エム エルエスシーピー アールデイ	282,700	2.73
株式会社SBI証券	248,900	2.40
日本証券金融株式会社	226,400	2.19
永徳 克己	180,000	1.74
三井住友信託銀行株式会社(信託口)	180,000	1.74
松井証券株式会社	163,700	1.58
溝辺 裕	156,900	1.51

所有者別株式数の分布状況



コラム Column

インターネット取引の革命「ブロックチェーン」

インターネットで通貨のやり取りをする場合、今までは金融機関など1つの管理者が取引を管理してきた。しかし「ブロックチェーン」技術は、やり取りを記録した台帳をインターネットで大勢のユーザーで共有する。そのため、金融機関のような管理者が不要となり、取引のスピードアップや取引手数料がかからないなどのコストダウンが期待できる。取引の記録（ブロック）をチェーンのようにつなげているのが名前の由来だ。今後は通貨取引以外にも、各種契約など様々な場面で活用されることが期待されている。しかし便利な反面、貴重な情報が扱われるほどセキュリティや信用保証が重要視される。当社は総合ネットセキュリティ企業としての強みを活かし、安心してインターネット取引が行われる環境づくりに貢献していく。



ホームページのご紹介

ホームページでもさまざまな情報をご覧いただけます。

トップページ

<http://www.e-guardian.co.jp/>



株主・投資家情報

<http://www.e-guardian.co.jp/ir/>



株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月に開催
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。 やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載 URL

<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6050/6050.html>

E-Guardian
Build Happy Internet Life

イー・ガーディアン株式会社

<http://www.e-guardian.co.jp/>

〒106-0045

東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 4F

TEL:03-6685-2564 FAX:03-5575-0621

